

2024-2025年度 地区組織編成と活動指針

A. ガバナー

ガバナーは、その地区において、理事会の一般的な指揮・監督の下に職務を行う R I の役員です。ガバナーは、地区内のクラブを啓発し、意欲を与えるものとします。ガバナーは、元、現任、次期地区リーダーと協力して、地区内における継続性を確保するものとします。

ガバナーには次の任務が課せられています。

- (a) 新クラブを結成すること。
- (b) 既存クラブの強化助成すること。
- (c) 会員増強を推進すること。
- (d) 地区およびクラブのリーダーと協力し、理事会の提唱する地区リーダーシップ・プランへの参加を奨励すること。
- (e) 地区内のクラブに対する指導および監督を行うことで、ロータリーの目的を推進すること。
- (f) TRFを支援すること。
- (g) クラブ間およびローターアクトクラブ間、およびクラブ、ローターアクトクラブ、RIの間の良好な関係を促進すること。
- (h) 地区大会を計画、主宰すること。PETSおよび地区研修・協議会の計画・準備にあたるガバナーエレクトに協力すること。
- (i) 個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。
 1. ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
 2. 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。
 3. 奉仕活動への参加に対するロータリアンの意欲をかきたてる。
 4. クラブの定款および細則が、組織規定を順守していることを確認する。規定審議会開催後は特にこれを行う。
 5. 顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。
- (j) 各クラブに対して月信を発行すること。
- (k) 会長または理事会の要請により、速やかに RI に報告を提出すること。
- (l) ガバナーエレクトに対して、国際協議会の前に、クラブの状況について詳細な情報を提供し、強化策を提案すること。
- (m) 地区における指名および選挙が、組織規定および RI の規定の方針を遵守するよう計らうこと。
- (n) 地区内のロータリアンのグループの活動について定期的に尋ねること。
- (o) 地区の文書をガバナーエレクトに引き継ぐこと。
- (p) RI 役員の職責に属するその他の任務を遂行すること。

B. 副ガバナー

ガバナー指名委員会が1名のパストガバナーを副ガバナーに選出します。副ガバナーの役割は、ガバナーが一時的あるいは恒久的にガバナーとして任務続行が不可能になった場合にガバナーの後任になることです。当地区では直前ガバナーがこれに当たります。

C. パストガバナー(PG)

1. パストガバナーの皆様には、ガバナー諮問委員会に加え、地区運営に関する指導役あるいはサポート役として、各委員会の分担をお願いしています。

2. 今年度のご担当委員会は以下の通りです

| | | | |
|-----------------|--------|-------|----|
| 地区ラーニング・管理運営委員会 | 委員長 | 本田 博己 | PG |
| | 副委員長 | 森田 高史 | PG |
| | 副委員長 | 足立 進 | PG |
| 地区戦略計画委員会 | 委員長 | 田中 久夫 | PG |
| | 副委員長 | 保坂 充勇 | PG |
| 審議会立法案検討委員会 | 委員長 | 本田 博己 | PG |
| | 副委員長 | 足立 進 | PG |
| 危機管理委員会 | 委員長 | 森田 均 | PG |
| ロータリー財団監査委員会 | 委員長 | 中野 正美 | PG |
| 会員組織強化委員会 | 委員長 | 竹内 正幸 | PG |
| ガバナー事務所管理運営委員会 | 委員長 | 森田 高史 | PG |
| R L I 推進委員会 | アドバイザー | 竹内 正幸 | PG |
| 審議会立法案検討委員会 | アドバイザー | 曾我 隆一 | PG |
| ロータリー財団委員会 | アドバイザー | 森田 高史 | PG |
| D E I 推進委員会 | アドバイザー | 竹内 正幸 | PG |
| 公共イメージ・ICT推進委員会 | アドバイザー | 足立 進 | PG |
| 奉仕プロジェクト | アドバイザー | 中野 正美 | PG |
| 青少年奉仕プログラム | アドバイザー | 山田 邦子 | PG |
| 米山記念奨学委員会 | アドバイザー | 竹内 正幸 | PG |

D. ガバナースタッフと地区三役

1. 当年度の地区幹事(2年幹事)を「代表地区幹事」と呼び、代表地区幹事は地区会計長と連携して地区運営を統括します。また前年度の地区幹事(1年幹事)、次年度の地区幹事(3年幹事)と協力して、地区運営の連続性に努めます。
2. 地区会計長は「地区財務委員会」の委員長として、地区会計を統括し、ガバナーとともに地区資金の銀行口座の署名人となります。
3. 当年度の地区副幹事は21名で複数の任務(委員会・ガバナー補佐・地区行事等)を分担します。委員会・地区行事等の事務・連絡・記録は各担当副幹事が行います。
4. ガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト、地区幹事3名、地区財務委員3名のことを「地区三役」といい、継続的で効果的な地区運営を図る目的から「地区運営

連絡会議」を開催します。またガバナーノミニーが選任された場合はこれに加わり
ます。

E. 地区ラーニングファシリテーター

地区ラーニングファシリテーターはガバナーおよびガバナーエレクトと協力して、地区
チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会、地区大会、地区ク
ラブ活性化ワークショップ、RLIセミナー、ローターアクトクラブ役員講習会等の地区研
修を企画・管理します。また、地区ラーニング・管理運営委員会の委員長も務め、必要に
応じてセッションの進行役の人選、研修におけるそのほかの担当者の割り当てを行います。

F. ガバナー補佐

1. ガバナー補佐はガバナーの地区管理を補佐する公式の役職として、地区リーダーシッ
プ・プラン(DLP)の中枢を担っています。地区内45クラブを6分区・8グループに
分け、各グループに1名、合計8名のガバナー補佐を配置します。
2. ガバナー補佐の主要任務は、担当クラブの管理運営に関して、ガバナーを支援する
ことです。具体的には次の通りです。

*分区内のクラブを年4回以上訪問し、クラブの現状をガバナーに報告し、改善す
る点があればガバナーと協議し助言・指導する。またガバナー公式訪問に向けた
クラブの準備を手伝い、ガバナー公式訪問の2週間前までにクラブを訪問して、
クラブの現状等について所定の報告を行う。

*クラブ会長がロータリークラブ・セントラルに目標を入力すること、また入力し
た目標達成を支援する。

*クラブの奉仕プロジェクトや補助金プロジェクトの取り組みを支援し、そのため
に関係委員会等と連携し調整する。

*クラブがクラブ・リーダーシッププラン(CLP)を推進し、活性化する手助けをする。

*分区内のクラブリーダーらとオンラインによる方法を含めて交流や親睦をはかる。

*必要に応じてIMを開催し分区内の会員のロータリーの価値を共有するととも
に、相互の親睦を図る。

*分区内のローターアクトクラブの支援を行う。

G. 地区の各種委員会について

地区運営全般として次の点に留意してください。

*委員会相互の情報交換を図り、効果的な委員会活動を行う。

*次世代のリーダーを育成する。

*委員会を開催することで委員の参加意欲を促し、リーダーとしての意識を養う。

地区運営に関わる委員会

地区運営上の課題解決と地区の永続的発展を図るために編成するものです。パスト
ガバナー・ガバナー補佐・地区委員会委員長・地区委員経験者等に委員をお願いし
ています。

①地区ラーニング・管理運営委員会

地区ラーニング・管理運営委員会は、地区ラーニングファシリテーターを中心に、地区の研修プログラムの全てを統括します。ガバナーエレクト年度において、いわゆる三大研修(地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会)の企画を行うとともに、各種研修を監督し、RLI推進委員会をサポートし、研修面で、ガバナーとガバナーエレクトを支援します。

また、同時にクラブラーニングファシリテーターセミナーを企画するなど、クラブラーニングファシリテーターを支援します。

②RLI推進委員会

RLI (Rotary Leadership Institute) は、講師の授業を聞く講義形式ではなく、少人数でテーマに沿って各人が自由に発言し、互いに気づき合う方法で行われるセミナーです。ファシリテーターが進行しますが、答えを教える人ではなく、あくまでも進行役(ファシリテーター)です。ロータリーについて、自分の見解を自由に述べ、他の人の発言から多くを学ぶことができます。自発的、能動的な学習形式です。当地区では秋口に Part I ~ Part III (3回)が開催され、次年度の会長・幹事の必須研修となっております。

③地区戦略計画委員会

地区およびクラブにおける戦略計画の立案と推進を支援する委員会です。当年度は現在の第4期戦略計画(2023-2026年)の中間年度に当たります。

ロータリーは単年度制であるため、各年度の地区運営や実施された事業が必ずしも十分な検証が行われている状況にはありません。

地区における各事業について建設的な検証を実行し、今後の地区運営に生かせる、地区事業のPDCAサイクルを牽引して頂きます。

また、毎年行われるアンケート調査や結果分析について、時系列的に管理し、アンケートを受ける側の負担も考慮し、重複を避ける等、ガバナーやガバナーエレクトが効果的に運営できるよう統括して頂きます。

④審議会立法案検討委員会

規定審議会に提案すべき立法案については、地区内ロータリークラブの提案を検討して取りまとめます。委員会はパストガバナーとガバナー補佐で構成し当地区は、日本の34地区の中でも有数な提案地区となっております。

⑤危機管理委員会

国際ロータリーが提唱する青少年奉仕のプログラムに参加する青少年および米山記念奨学生の安全と健康及び健全な生活を守り、交通事故・自然災害から保護し、身体的・性的・精神的虐待あるいはハラスメントを防止すると共に、起こりうる危機に適切に処理できるよう設置しています。委員長はパストガバナーにお願いし、青少年奉仕関係の委員長に委員になって頂きます。

⑥ロータリーの友地区委員会

『ロータリーの友』編集委員会には、日本全国34地区からガバナーの代理として選任を受けたロータリーの友地区代表委員が参加し、編集委員会のメンバーとして地区と『ロータリーの友』を結ぶ役割を担っています。具体的活動としては、毎月発行される『ロータリーの友』を読み、感想や意見を編集部に送り、編集部ではそれを全会員に送り情報を共有して編集に生かします。地区や地区内のクラブの情報収集にも努め、会員から『ロータリーの友』への投稿をお願いします。『ロータリーの友』で一番大切なのは、ロータリアンの皆様から直接投稿をいただく原稿や写真です。他のクラブの活動の参考になる素晴らしい活動や、地域性に富んだ特色ある活動、読者の皆様にお伝えしたい情報など、各クラブへの投稿を勧奨して頂きます。

⑦ガバナー事務所管理運営委員会

ガバナー事務所や事務職員に過度な業務負担が生ずることのないよう地区委員会や幹事・副幹事との調整を行い、事務職員の勤務を健全な状態に保つとともに事務所運営上の諸課題に対応します。また将来を見据えた業務のあり方も常に検討していく必要があります。また各種ハラスメントも発生しないよう管理して頂きます。

⑧ロータリー財団委員会

ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付で支えられ、ロータリアンが特定したプロジェクトに資金を提供する唯一の団体です。ロータリアンは様々な方法で人々への奉仕を行います。ロータリー財団はロータリアンが行う奉仕を支えています。

地区ロータリー財団委員会の継続性を保つため、ガバナー、ガバナーエレクトと協力する。またガバナーの指揮の下、財団関係の4つの小委員会と協力して財団活動の計画、調整、評価を行う。

2024-2025年度は、次の4つの小委員会より構成されます。

1. ポリオプラス・資金推進委員会
2. 資金管理・平和フェロシップ委員会
3. 地区補助金委員会
4. グローバル補助金委員会

クラブへの支援活動を一層強化し、適切なアドバイスを提供するように心掛けます。

⑨ポリオプラス・資金推進委員会

ポリオプラスは、国際ロータリーの特別プログラムで、根絶の認定が達成されるまでは、ほかの全てのプログラムに対して優先されることとされておりますが、日本においては、ポリオの発症は止まって久しく、特に新会員等には馴染みも薄いことから、十分な理解が浸透している状況にはないものと感じております。

そうした会員の十分な理解を前提に、本年度も世界ポリオ撲滅のための寄付の推進(目標1人30ドル以上)を行っていきたいと考えています。

⑩資金管理・平和フェローシップ委員会

ロータリー財団における補助金(地区補助金・グローバル補助金)は、地区やクラブの奉仕活動の大きな財源となっております。

当委員会は、ロータリアンの寄付が財源となって支給される各種補助金を厳格に管理するための委員会であります。

当地区は、地区補助金については全クラブが使用し、実績を上げておりますが、一方DDF(地区財団活動資金)の残高が増加しつつありますので、グローバル補助金委員会と協力して有効活用を推進してゆきたいと考えております。

また、平和は「人」から始まると考えるロータリーは、平和フェローシップ(奨学金)を通じて、世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者のネットワークを築いています。

毎年、世界中から選ばれる最高100人のフェローが、ロータリー平和センター提携大学で学んでいます。

当地区は全く馴染みの薄いプログラムですが、地区内の広報を広げてゆきたいと考えております。

⑪地区補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、地区補助金を担当する委員会です。

当地区は、日本34地区の中でも唯一地区内全45クラブ(100%)が申請を行うなど、先進の地区といえることができます。

今後とも、地区内の全クラブが地区補助金の活用を行うよう地区補助金申請を奨励するとともに、今後は各クラブの奉仕事業の質の面で、一層地域社会のニーズにマッチしていくよう支援してゆきたいと考えております。

⑫グローバル補助金委員会

私たちロータリアンの寄付を財源として成り立っているロータリー財団からの補助金のうち、グローバル補助金を担当する委員会です。

当地区では、毎年数件のグローバル補助金を活用した申請が行われておりますが、毎年グローバル補助金予算が、1,000万円近くあるところ、数百万の申請に留まっており、残額は最終的には地区内では利用できず、ポリオプラスやロータリー平和センターへの寄贈となってしまいます。

本年度、6つの重点分野に適合したグローバル補助金の申請モデルを開示するなどして、地区並びにクラブが、活発にグローバル補助金の申請を行えるよう活動してゆきたいと考えております。

また、グローバル補助金の活用につきましては、英語の壁や申請時の煩雑さから敬遠されがちでありますので、地区内でのエキスパートを探索するとともに、可能であれば、クラブでの申請をサポートする申請アクセスの専担者の選任を目指したいと考えております。

⑬ 会員組織強化委員会

この委員会は従来の「会員増強」を「会員組織強化」と捉えなおし体制を強化したもので、CLPに基づくクラブ委員会組織の「会員増強委員会」に呼応するものです。「会員増強」の目的は単に会員数の増大を図ることのみでなく、「会員組織」の強化、即ちクラブの会員基盤の充実です。こうした課題は地区内の全クラブが取り組むべきことから、ガバナー補佐8名を委員として全クラブに対する「会員組織強化」の支援体制を整えます。また、衛星クラブなどの革新的クラブの創設やローターアクトクラブの強化も必要だと思います。これらのことも念頭に置いて活動を推進し、会員組織基盤の強化に努めます。

⑭ DEI推進委員会

誰もが独自のカタチで貢献できることを認識し、すべての人にその機会を与えられるようにしなければなりません。

すべての人を温かく迎え入れるインクルーシブなクラブの文化を築くための第一は、多様性、公平さ、インクルージョン(DEI = Diversity・Equity・Inclusion)に関する対話を持つことです。そして、インクルーシブなクラブの文化を培うことです。

多様性(Diversity)

背景、経験、アイデンティティがさまざまに異なること。文化宗教、民族性、人種、年齢、能力、学習スタイル、社会経済的地位、婚姻状況、使う言語、性別、性的指向、性自認(ジェンダーアイデンティティ)や、考え方、価値観、信条に基づくこともある。

平等(Equality)

すべての人が同じであること、または同じ方法で扱われること。状況によっては平等な扱いが適切な場合がある一方、ニーズや状況が異なるにもかかわらず同じ扱いをすることが不適切な場合がある(例:異なる病気の人に同じ薬を与える)。

公平(Equity)

各個人のニーズや事情に応じて、さまざまなレベルのサポート、機会、リソースが得られるようにすること。

インクルージョン、包摂(Inclusion)

すべての人が尊重され、大切にされていると感じられる環境、かつ自分のアイデンティティの一部を隠さずにありのままの自分でいられる環境を築くこと。

⑮ 公共イメージ・ICT推進委員会

「公共イメージと認知度の向上」は、RIの戦略計画の3つの優先項目の1つです。

ロータリーのプロジェクトが地域社会にもたらす影響を高めるには、効果的な広報が重要となります。

公共イメージ・ICT推進委員会は、ロータリーを人々に紹介し、ロータリーの活動に対する理解、評価、支援を促す広報の企画にあたりますが、具体的には、地区大会

をはじめ各種会合や地区の奉仕活動をマスコミに掲載することを計画し実践してゆきます。

また、広報に止まらず、ロータリーの本質的なブランディングを確立、アピールする委員会としても活動して頂きます。具体的には、職業奉仕からスタートしているロータリー組織を、より効果的に地域社会に理解してもらえるような企画や広報を実施してゆきたいと考えております。マーケティングに強い方やマスコミ関係に人脈のある会員は委員会に適任だと思います。

⑯国際大会推進委員会

毎年開かれる国際大会では、世界中のロータリアンが一堂に集い、活動の成果やアイデア、体験を分かち合います。今年度も当委員会を設定して、準備を進めてゆきたいと考えております。

保坂年度の国際大会は、2024年5月25日(土)～5月29日(水)シンガポールで開催されます。

森年度の国際大会は、2025年6月21日(土)～25日(水)カナダ、カルガリーで開催されます。

⑰職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会

職業奉仕、国際奉仕、地域社会奉仕委員会は、ロータリーの掲げる五大奉仕の1つであります。

職業奉仕は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。

また、国際奉仕につきましては、地区やクラブが主体となって推進されていることとは思いますが、特に地区のDDF(地区財団活動資金)を余すことなく利用できるよう、グローバル補助金委員会とも協力し、グローバル補助金活用事業を一層推進してゆきたいと考えております。

地域社会奉仕につきましては、すべてのロータリアンが、地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。特に当地区では、地区内45クラブの全クラブが地区補助金の活用事業を実施(100%)するという、日本国内34地区の中でも、傑出した実践地区であります。今年度も、地区補助金の事業を45クラブが活用できるように支援します。

また、ロータリー一月間に因んだ月信投稿や各種情報発信を行うことでクラブを支援してゆきたいと思っております。

⑱青少年交換委員会

ロータリーは、青少年交換を通じて、若者のエンパワメントを図り、リーダーシップの力を育成し、世界の理解と平和を推進しています。

青少年交換は、15～19歳の学生が海外に滞在し、留学する機会を提供するもので、2ヶ国のロータリーの地区・クラブで行われる交換(派遣・受入)プログラムです。

長期交換(約1年)と短期交換(約1ヶ月)があり、学生はお互いの国のホストファミリー宅に滞在しながら現地の学校に通います。

当地区では、毎年、長期交換4～5名、短期交換2～3名の実績があります。

また近年は、身体的、性的、精神的な虐待から青少年を守ることも重要な役割となっております。

委員会活動としては、地区内で最もハードな委員会と受け止められていることもあり青少年交換プログラムの今日的意義について十分に協議を行うとともに、過度とも言われている委員会活動の効果的な軽減を図ってゆきたいと考えております。

⑱ インターアクト委員会

インターアクトは、12～18歳までの青少年が、地元や学校で同じ世代の若者と知り合い、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区では、県内16の高等学校にそれぞれインターアクトクラブ(従って16の提唱ロータリークラブ)が存在し、日々の活動を実践するとともに、例年7月にインターアクト年次大会を開催しています。

また、毎年、国際交流事業として、台湾インターアクトクラブとの一泊ホームステイを含んだ相互交流を行っています。

日頃の活動は、学校のクラブ活動の1つのような位置づけで指導教師も存在することから安定的な活動が行われておりますが、一方で、インターアクト提唱クラブ以外の関心が必ずしも高くないため、年次大会の企画・開催や国際交流事業につきましても、ホストクラブや関係者にお任せしている部分が少なくないようにも感じられます。大きな予算をかけている事業でもありますので、可能な限り一層地区が主体となるような工夫をしてみたいと考えております。

⑳ ローターアクト委員会

ローターアクトは、18歳以上の若者が集まり、地域社会でボランティア活動を行い、交流を深めながら、リーダーシップのスキルを培うことのできるプログラムです。

当地区ではローターアクトクラブが8クラブあります。

ローターアクトクラブは、毎月数回例会を行うなど、単体のクラブとしての活動とともに、他地区のローターアクトクラブとの交流もあり、当地区では、例年2月に地区年次大会を開催しています。

㉑ RYLA・学友委員会(ロータリー青少年指導者育成)

RYLA(ロータリー青少年指導者育成)は、若いリーダーを育て、ネットワークを築き、アイデアを広げ、行動を起こすよう、若者の意欲を高めるためのプログラムです。

当地区では、RYLA(ライラ)研修セミナーを開催しており、年1回、青少年を対象

として実施され、ロータリアンの参加は関係者のみとなっているため、地区全体のロータリアンの認知を必ずしも十分受けていないものと思われます。

また、運営につきましてもホストクラブにお任せしている部分が多いため、今年度は可能な限り、企画段階から協議を重ね、地区全体に周知できるよう、効果的な運営を目指したいと考えております。

②米山記念奨学委員会

日本で学ぶ私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、日本国内34地区の多地区合同プログラムです。

二度と戦争を起こさないという国際親善の視点から始まった米山記念奨学制度も、今日では、毎年約900名を越す米山記念奨学生を支援するまでに成長し、当地区では寄付実績も前年度、全34地区中7番目の実績(1人当たり19,343円)があり、寄付実績に応じて割り振られる奨学生も、本年度は25名となっております。

活動としては、指定校の選考に始まり、新規の奨学生の選考、世話クラブのカウンセラーに対するセミナーの他、米山学友会の総会等も開催されています。

H. 地区行事

1. 「会長エレクト・次年度幹事研修セミナー(PETS・SETS)」

3月16日(土)桐生商工会議所会館にて開催。

2. 「地区研修・協議会」

各クラブの新年度指導者研修を目的にしています。5月19日(日)桐生市内の美喜仁桐生文化会館にて開催。ホストクラブを桐生西ロータリークラブにお願いしています。

3. 「地区大会」

10月20日(日)美喜仁桐生文化会館にて開催。

前日10月19日(土)は桐生グランドホテルにて地区リーダーシップセミナーとRI会長代理歓迎晩餐会を開催いたします。

4. 「地区大会記念ゴルフ大会」

9月7日(土)太田市の鳳凰ゴルフ倶楽部にて開催。ホストクラブを桐生赤城ロータリークラブにお願いしています。

I. ガバナーエレクト

ガバナーエレクト(2025-2026年度)

竹中 隆(高崎北ロータリークラブ)

J. ガバナーノミネー

ガバナーノミネー(2026-2027年度)

三好 建正(安中ロータリークラブ)